

## 第5学年 社会科学習指導案

指導者 山口 陽平

1 日 時 令和元年 11月 6日 (水) 5校時

2 単 元 名 「自動車をつくる工業」

### 3 単元の目標

- 我が国の自動車工業の様子に関心をもって意欲的に調べ、働く人々の工夫や努力によって国民生活を支える工業生産の役割や発展について考えようとしている。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 我が国の自動車工業について調べた事実を関連付け、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることや工業の発展について考え、適切に表現することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 我が国の自動車工業について具体的な調査活動や文章、写真資料、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをノートにまとめることができる。  
(観察・資料活用の技能)
- 我が国の自動車工業に携わる人々の様々な工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きを理解することができる。  
(社会的事象についての知識・理解)

### 4 単元について

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象を具体的に調査するとともに資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに従事する人々の工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていること、環境や人にやさしい車をつくるために研究・開発を重ねていることなどを手がかりにして、自動車工業の役割を考えられるようにする。本単元では、児童の疑問から学習問題を設定し学習計画を立て、教科書や資料を基に調べ学習を行う。車は自分たちにとって身近なものであるということを意識させ、そこから学習問題を設定し、児童は資料等から得たものをノートにまとめていく。これらの学習活動を通して、社会的事象の意味について考える力を育てていきたい。例えば、自動車の工場の仕組みについて、段階を追って学習していく中で、「自分の家の車はどのようにできているのだろう」や「同じ車が何台も走っているのはなぜだろう」といった身近な疑問を基に、何を学習するのかという単元の流れを明確にする。

どの児童の家庭でも車を所持しているため、単元の導入では、保護者へのアンケートを基に、車を選ぶポイントや購入したきっかけなどを抑え、本単元への意欲付けや本時の学習の着眼点へとつなげていく。保護者には事前に車に欲しい機能やこれからの車に望むものをアンケートで聞き、その結果と資料を合わせて今後の車に期待するものと自動車づくりに携わる人の願いを比較し、考えていくことで、より興味を持って児童が取り組めるようにする。

## 5 児童の実態

本学級の児童は、家でニュースを見たり新聞を読んだりする児童が多く、社会的事象に興味がある児童が多い。一方で、資料を読み取ったり、必要な部分を整理したりすることに関しては十分でない。社会科は好きだが、資料から内容を読み取り、自分でまとめることができないという児童もいる。

本単元では、教科書や資料から日本の工業生産について調べる活動を行う。児童は付箋を活用し、必要な部分にメモを残しながら教科書や資料を見ていく。そして、メモを基にグループで話し合い活動を行い、ホワイトボードに意見をまとめていく。

付箋やホワイトボードなど、何度もやり直しができる媒体を用意することで、間違えるのを恐れてなかなか取り組めない児童への支援とする。

## 6 単元活動計画（全9時間 本時8時間目）

主な学習活動	評価の観点	時間
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動車の生産について学習することを確認し、単元計画を立てる。</li> <li>○ 日本の自動車が世界で売れている理由を予想し、考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関</span>自分の経験やから工業生産について興味をもち、計画を立てる。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関</span>進んで調べたいポイントを考えようとしている。</li> </ul>	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動車工場で働く人や自動車工場の生産工程について調べ、働く人々が工夫や努力にはどんなものがあるか考える。</li> <li>○ 自動車工場で働く人々が、よりよい自動車を効率よくつくるために様々な工夫や努力をしていることを資料や映像から考える。</li> <li>○ シート工場について写真や映像などの資料を活用し、自動車の部品がどのようにつくられ、組み立て工場に運ばれているかを調べ、分かったことを発表し合う。</li> <li>○ 注文した自動車が消費者に届くまでの過程を調べ、輸送方法や現地生産の良さについて理解する。</li> <li>○ 自動車の製作者と消費者の思いを比較し、アンケートの結果や資料から、どのような自動車を作ろうとしているかをまとめる。</li> <li>○ 自動車が環境に与える影響から、今後、どのような自動車の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技</span>自動車の生産工程やそこに携わる人々の工夫や努力について、資料を活用して情報収集をし、読み取ることができる。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技</span>工場で働く人々が効率よく作業するためにどのような工夫をしているかについて、資料を活用して情報収集をし、読み取ることができる。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</span>自動車の部品をつくる過程やその輸送について調べ、一台の自動車をつくるために多くの工場が連携していることを理解することができる。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</span>完成した自動車がどのように消費者の元に届けられるのか、また、海外で現地生産が行われていることを理解することができる。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</span>自動車生産に携わる人が、環境に配慮しながら、消費者や環境に配慮した自動車を生産するために工夫や努力をしていることを理解することができる。</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思</span>自動車と環境問題の関係について知り、今後の自動車の課題や未来について、前</li> </ul>	6 本時 6/6

が進められようとしているのか考え、意見を交流する。	時の学習内容を振り返りながら考えることができる。	
○ 自動車作りに携わる人たちが、効率よく作業するための工夫や社会・消費者のニーズに合わせて努力していることをふり返り、その思いを新聞にまとめる。	<b>技</b> 日本の自動車生産の特徴や今後の自動車生産について調べたことをもとに、新聞にまとめることができる。	1

## 7 本時の指導（8／9時間）

- (1) **目標** 今後の自動車開発について、前時の学習内容や資料を基にグループで話し合うことを通して、自動車と環境問題について自分の考えをもつことができる。  
(思考・判断・表現)

### (2) 準備

テレビ、パソコン、環境問題と自動車の関係がわかる写真、グラフや表などの資料、振り返り用のワークシート

### (3) 展開

学習活動と予想される児童の表れ	○支援 ◆ <u>研修にかかわる支援</u> [ ]評価
<p>1 前時の学習内容を振り返る。</p> <p>○ 前時で考えた車に欲しい機能はどんなものがあったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアバッグ</li> <li>・自動ブレーキ</li> <li>・電気自動車</li> </ul> <p>2 資料を見て本時の課題を考える。</p> <p>○ 写真を見て気付いたことを挙げましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都会が霧で覆われているように見える。</li> <li>・排気ガスの煙かもしれない</li> </ul> <p>3 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>環境に良い車とはどのような車なのか考えよう。</p> </div> <p>4 環境問題と車について考える。</p> <p>○ 車にはどんな問題があるだろう。</p>	<p>○支援 ◆<u>研修にかかわる支援</u> [ ]評価</p> <p>◆ <u>アンケート結果(消費者の思い)と自動車製作者の思いの比較を提示し、前時の振り返りを行う。</u></p> <p>○ 前時で学習したことを振り返り、欲しい機能や理想の車について挙げていく。</p> <p>○ 児童が前時までを振り返り意見を持てるように、教室に前時までの授業の内容を掲示しておく。</p> <p>○ スモッグで覆われている写真から環境という課題に気付かせ、問題意識を持たせる。</p> <p>○ 出た意見は類型化し、環境に関係するものとそれ以外に分けて黒板に板書し、学習内容の意識付けをする。</p> <p>○ 環境問題に目を向けさせるために、廃車の写真やスモッグの写真を、テレビを使って提示する。</p> <p>○ 車と環境問題についてまとめたグラフや表などの資料も用意し、それをもとに環境を視点に考えられるようにする。</p>

- ・写真のように排気ガスが増えると空気が汚れてしまうね。
- ・壊れた車が山積みになっていてゴミが増えてしまうね。
- ・ガソリンも限りがあるから使いすぎるとなくなってしまうよ。

5 今後どのような車が求められていくかを考える。

- この問題を解決するために、今後どのような車が必要か考えよう。
  - ・大気汚染の問題があるから排気ガスが減らせるような車が欲しい。
  - ・電気自動車が今後増えるといいよね。
  - ・CO<sub>2</sub>が出ないようにして地球温暖化の対策をしたいよね。

6 まとめる

車は便利だが環境に影響を与えるものがいくつかある。車には安全性や見た目や快適さを求める機能もあるが、排気ガスの問題が大きな問題だと思った。それを減らすような機能が今後求められると思う。

7 振り返り

- 本時の学習を振り返って自分の感想を書きましょう。
  - ・見た目や値段にとらわれていたけど、環境対策もこれからは大切だと思った。
  - ・こんなにいろいろな環境問題があるなんて知らなかった。そしてそのためにいろいろな人が車の開発をしていることも知らなかった。

◆ 資料から読み取れず意見が持てない児童でも自分の考えが書けるようにするために、写真を用意し、そこから気づいたことを書くように促す。

○ 授業の最初に挙げた機能と調べた環境についての問題を比べ、環境に必要な機能を挙げていく。

○ 自分にとって価格と機能のバランスがちょうどいい部分を考えられるように、その他の機能も必要なことに気付かせつつ、すべての機能をつけるとコストが非常に多くかかることをおさえる。

◆ 「ほしい機能」と「環境」というキーワードを色付けし、話し合いの視点を示す。

◆ 児童が出した意見をまとめるために、各班に1つずつホワイトボードを用意し、グループの考えを記入できるようにする。

今後の自動車開発について、前時の学習内容と環境問題にかかわる写真を結び付けてグループ交流することを通して、車と環境についての自分の考えをもつことができたか。

(発言、ノート)

◆ 毎時間の計画と振り返りが一覧として見ることができるよう、ワークシートに記入させる。

## 8 社会科研究部研究の観点から

### (1) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善

#### ① グループでの対話を通じた関わり合い

本単元では、友達のを考えを受け入れたり、考えを深めたりするために意図的に話し合う場面を設定する。その際、現在と未来を比較したり予想したりする資料を提示し、視点を明確にした話合いができるような支援をする。また、話し合う場面では、ホワイトボードを活用し、話し合いを整理していく。

#### ② 深い学びにつながる問いの工夫、主体的な学びにつながる振り返り

事象について疑問をもったり、背景を考えたりできるようにするために、疑問をもつことができるような資料を精選し、提示する。資料を見る視点を明確にする発問を工夫することで、調べて得た情報を基にして、問いを焦点化し、話し合う必要感をもたせたい。また、生産者の工夫や努力を考える際、消費者の思いや環境への配慮に気付かせる資料や発問を工夫することで、今後の自動車づくりの在り方を主体的に考えることができるようにする。